



## ◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	
その他	

## ◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目4.0.1	学部再編と連動する研究科の教育研究組織の再編は重要であり、重点的な検討が必要である。
★小項目4.0.2	
その他	

【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目4.0.1	2011年度にまとめる学部再編計画にあわせて研究科の教育研究組織の具体的な再編計画を立案する。
★小項目4.0.2	
その他	

## ◎自由記述

【点検・評価】&amp;【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

## Ⅲ. 学内第三者評価

&lt;評価専門委員会の評価&gt;

【学外委員】

○将来ビジョンに基づく教育研究組織の具体的な再編計画の作成が期待されます。

【学内委員】

○単に文言だけに係ることですが、改善の方策は、“調査する”など行動で記述することが望ましいと思います。

○「教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。」という点に対する現状の説明「将来ビジョン委員会のWGにおいて検討を開始した。」はそぐわないでしょう。また、検証しているにチェックがついていますが、その事の説明が必要となります。

○本項目は、組織の在り方についての検討経緯や結果を説明するのではなく、大学として教育学研究科という教育研究組織が適切か、理念・目的を実現するために相応しいか、について聞いています。従って、このような視点での説明が求められます。

【大学基準協会:評価に際し留意すべき事項】

○小項目4.0.1

基盤評価：なし

達成度評価：「教育研究組織が、当該大学、学部・研究科等の理念・目的を実現するためにふさわしいものである」

○小項目4.0.2

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育研究組織の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

《現状の説明》4.0.2の(説明)部分を下記のように修正。

★(説明) 将来ビジョン委員会のWGにおいて検討を続けている。教育学部の一期生が進学する2013年度に学問領域の増設することなどを検討対象としている。